ロータリー２０２５～２０２６年度
UNITE FOR GOOD
よいことのために手を取りあおう
第２８４０地区　２０２５～２０２６年ロータリーのテーマ
館林ロータリークラブ会報
R.I 加盟承認１９５８年６月２日
Club　ID　１３９５６

２０２５年１１月１４日(金)　第３２５８回例会報告（Ｎｏ，１６）

点　鐘・ソング　奉仕の理想

― 会　長　挨　拶 ―

本島　克幸　会長

本日も、大変お忙しい中、１１月第２例会にご出席いただき、心より感謝申し上げます。

さて、本日 11 月 14 日は、「世界糖尿病デー」です。皆様もご存知の通り、糖尿病の脅威が世界に広がる中、1991 年に IDF（国際糖尿病連合）と WHO（世界保健機関）によって制定され、2006 年には国連によって公式に認定された、世界的な疾患啓発の日であります。インスリンを発見したカナダのバンティング博士の誕生日であり、画期的な糖尿病治療の発見に敬意を表してこの日が選ばれています。世界糖尿病デーのシンボルマークは、青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」です。これは、国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインしたもので、"Unite for Diabetes"（糖尿病との闘いのため団結せよ）という力強いキャッチフレーズとともに、世界中で啓発キャンペーンが推進されています。現在、世界の成人のおよそ 10 人に 1 人、5 億 3700 万人がこの病気を抱えています。そして、年間実に 670 万人以上が糖尿病に関連する病で命を奪われており、これは世界のどこかで、5 秒に 1 人が亡くなっているという計算になります。国連決議が採択された 2006 年当時は「10 秒に 1 人」でしたから、残念なことに 16 年間で半分の秒数になり深刻化していると言えます。このままでは、2045 年には世界の糖尿病人口は約 7 億 8300 万人に達すると予測されており、特に発展途上国では、経済成長や教育改善の大きな妨げとなっています。この「世界糖尿病デー」に私たちが直面しているのは、まさしく人類共通の課題であり、私たちが住むこの地域社会においても決して無関係ではありません。私たちはこの現状を深く認識し、身近なところから、糖尿病の予防や早期発見の重要性について家族や友人に伝えること。また、ロータリーの活動を通じて、地域における健康意識の向上に貢献していきましょう。

さて、本日の卓話では、ラグビーリーグワンの強豪、埼玉パナソニックワイルドナイツに携わる、パナソニックスポーツの北山様からお話を伺います。ワイルドナイツは、1960 年に邑楽郡大泉町で産声を上げられ、そのルーツから現在に至るまで、この地域と共に歩んでこられました。現在は熊谷市を拠点に、熱い感動を与えてくださっています。本日は、チームの歴史や、厳しいプロの世界におけるチームビルディング、そして地域社会との連携など、私たちの日々の活動にも役立つ大変貴重なお話を伺えることと期待しております。

― お客様のご紹介 ―

パナソニックスポーツ株式会社
埼玉パナソニック　ワイルドナイツ
北山　康弘　様

在籍年数記念品贈呈者（30 年）

大澤　孝司　会員

― 会　務　報　告 ―

本島　克幸　会長

Ｒ　７．１１．　８（土）第２回地区補助金委員会
参加者　山本　　樹　　於・前橋問屋センター会館
Ｒ　７．１１．　８（土）米山学友会イベント
「碓氷峠路探訪」　　於・碓氷峠
参加者　米山奨学生　シェルパ・ニマ・テンディ
Ｒ　７．１１．　９（日）ＲＬＩセミナーパートⅢ
於・前橋問屋センター会館
参加者　山本　　樹・中世　吉昭・関井　宏一
Ｒ　７．１１．１１（火）次年度第１回ガバナー補佐会議
参加者　小暮　雅丈　　於・豊田屋旅館

今　後　の　予　定

Ｒ　７．１１．１６（日）青少年交換委員会・ホストクラブオリエンテーション
対象者　荒木千津子　　於・前橋問屋センター会館
Ｒ　７．１１．１７（月）イルミネーション点検作業
於・谷田川倉庫
Ｒ　７．１１．１８（火）第４分区Ｂ会長・幹事会
於・よねや西口店
対象者　本島　克幸・藤島　　厚・山本　　樹
Ｒ　７．１１．２１（金）２０２６－２７年度理事・役員指名委員会　　於・増喜
対象者　新井　　保・野辺　昌弘・坂村　吉保
齊藤　　要・田部井孝一・小暮　雅丈
小暮　高史・宮内　敦夫・小池　敏郎
大澤　孝司・長柄　　純・瀬山　欣春
毛塚　　宏・谷田川敏幸・石川　長司
上野　和路・横田　善次・関井　宏一
オブザーバー
本島　克幸・藤島　　厚
山本　　樹・中世　吉昭
Ｒ　７．１１．２２（土）第１回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議
対象者　小暮　雅丈　　於・前橋問屋センター会館
Ｒ　７．１１．２２（土）イルミネーション設置作業
於・駅前通り
Ｒ　７．１１．２２（土）イルミネーション設置作業懇親会　　於・ジョイハウス桃林
Ｒ　７．１１．２７（木）本島年度第２回親睦ゴルフコンペ　　於・森の宮カントリー倶楽部
対象者　本島　克幸・藤島　　厚・荒木千津子
飯塚　一成・石川　長司・小池　敏郎
関井　宏一・関口　　昇・中世　吉昭
谷田川敏幸・山本　　樹
Ｒ　７．１１．２７（木）叙勲祝賀会
於・館林市文化会館　アザリアホール
対象者　本島　克幸
Ｒ　７．１１．２９（土）米山選考会面接委員オリエンテーション
対象者　齊藤　一則　　於・ロイヤルチェスター前橋
Ｒ　７．１１．２９（土）米山学友会「忘年会」
於・ロイヤルチェスター前橋
対象者　長柄　光則・齊藤　一則
米山奨学生　シェルパ・ニマ・テンディ
Ｒ　７．１１．３０（日）新会員セミナー
於・エテルナ高崎
対象者　海宝　雄人・松本　隆志・島田　直樹
田中　聡美・新井　律子
Ｒ　７．１２．　６（土）イルミネーション点灯式・慰労会　　於・吉川
Ｒ　７．１２．１２（金）年次総会　　於・KOMORINU
Ｒ　７．１２．１８（木）クリスマス家族例会
於・文右衛門ホール
Ｒ　８．　１．２５（日）職業奉仕セミナー
於・前橋問屋センター会館
対象者　本島　克幸・藤島　　厚・飯塚　一成
Ｒ　８．　２．　７（土）第４分区Ｂ　ＩＭ
於・ニューミヤコホテル館林
Ｒ　８．　６．１３（土）～１５（月）親睦家族旅行
於・台湾

― 幹　事　報　告 ―

１．例会場・例会時間の変更
◆安中ＲＣ
１２月　９日（火）→１２月１６日（火）
ランチ例会
点　鐘　１２：３０
会　場　新島
１２月２０日（土）→１２月１３日（土）
クリスマス家族夜間例会
点　鐘　１９：００
会　場
太平洋クラブ高崎コース
◆富岡かぶらＲＣ
１１月１８日（火）→夜間移動例会
点　鐘　１８：３０
会　場　イル・ピーノ
１１月２５日（火）→休　会
（インドネシア貯水槽プロジェクトの為
現地ＲＣへメーク）
１２月１６日（火）→夜間例会（クリスマス例会）
点　鐘　１８：３０
会　場　アミューズ富岡

１２月２３日（火）→　休　会
１２月３０日（火）→　年末休会
２．会報、週報
３．その他
◆（公財）ロータリー米山記念奨学会
→　「ハイライトよねやま３０８号」のご送付
　　▼全文は、こちらよりご覧ください。
https://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/summary/highlight308_pdf.pdf
◆館林市役所
叙勲祝賀会のご案内
【日　時】１１月２７日（木）　１４：００開会
【会　場】館林市文化会館　アザリアホール
【会　費】１，５００円
【対象者】本島　克幸
◆館林商工会議所
令和８年議員新年会ご臨席のご案内
【日　　時】令和８年１月８日（木）　１６：００～
【会　　場】式　典：日清製粉ウェルナ三の丸芸術ホール
　　懇親会：館林市文化会館１階「アザリアホール」
【懇親会費】６，０００円
【対 象 者】本島　克幸
◆館林商工会議所青年部
たてばやし光のページェント点灯式開催のご案内
【日　時】１２月　６日（土）
　　集　合　１６：１５
　　点灯式　１６：３０～
　　【１部ピアノライブ：１６：３０～
　　２部式典：１７：００～】
【会　場】館林駅東口　駅前ロータリー内　噴水前
【対象者】本島　克幸
◆館林商工会議所
「商工たてばやし　№５０３」のご送付

― 委　員　会　報　告 ―

根岸　利正　副Ｓ・Ａ・Ａ

例会出席報告

通算３２５８回例会

会　員　数	５５名
出席率算出会員数	５３名
出 席 者 数	２９名
欠 席 者 数	２４名
出　席　率	54.72%
前前回修正	75.00%～78.85%

ニコニコ BOX 委員会　長柄　光則　委員長

― ニ コ ニ コ Ｂ Ｏ Ｘ ―

☆本島　克幸会長　大変頂きました
北山様、卓話はありがとうございます。

☆山本　樹副会長　頂きました
パナソニックスポーツ(株) 北山様、卓話ありがとうございます。三洋時代からチームのファンです。今シーズンは日本一奪還、お願いします。

☆藤島　　厚幹事　頂きました
本日は埼玉パナソニックワイルドナイツの北山様、卓話よろしくお願いいたします。

☆谷田川　敏幸会員　大変頂きました
一昨日、功労者表彰をいただきました。感謝申し上げます。

☆飯塚　一成会員　頂きました
パナソニックスポーツ株式会社北山様、館林ロータリークラブへようこそ。

☆根岸　利正会員　頂きました
北山様、ご来訪ありがとうございます。
本日、小池委員長欠席のため、SAA をさせていただきます。よろしくお願いします。

☆矢島　孝昭会員　頂きました
北山様、いつもお世話になっております。ようこそ館林ロータリークラブへ。本日はよろしくお願いいたします。

☆磯野　哲也会員　　頂きました

本日はワイルドナイツの北山様、ようこそお越しいただきました。卓話は楽しみにしております。

☆新井　律子会員　　頂きました

北山康弘さん、本日はどうぞよろしくお願いします。

－卓　話－

プログラム・健康増進委員会　田中　聡美　副委員長

パナソニックスポーツ株式会社

埼玉パナソニック　ワイルドナイツ

北山　康弘様

皆様こんにちは。本日はお招きいただきまして誠にありがとうございます。本日は矢島様にご紹介いただきまして、ラグビーの魅力、また、連携事業について、ご挨拶並びにご案内をさせていただきたいと思います。

まず自己紹介になります。栃木県日光市生まれ。住まいは父親の仕事の関係で栃木県小山市になります。1988 年に三洋電機ラグビー部に入社をしまして、プレイヤーとしては 8 年間プレーをさせていただきました。引退後は、三洋電機並びにパナソニックの家電製品、業務用関係の営業させていただいておりました。営業になった経緯は、ラグビーは今でこそ、プロ契約選手と社員選手がありますが、私が入った当時は社員選手しか選択肢がなく、社員選手として入社をして、引退後は、この業務に戻るという中で、実はラグビー部を引退すると、1 回だけ監督から、どこに行きたいかということで話が来まして、栃木県の家電営業に戻してもらいました。当初 1 年間は、街の電気屋さんに修行に行きまして、エアコンの取り付け工事や、別荘地のアンテナを立てに行ったり、社長と一緒に訪問販売もしながら育てていただきました。そのときに、よく社長に言われたことは、従業員の皆様、家族の皆様の飯を食べさせなくてはならない。ご商売する上では 1 円をもらう価値、重みを知ること。その当時はラグビーしか知らなかったので、そのときに習った経営という部分に感銘を受けて今に至っております。

私がチームに戻ったのは約 4 年前。ラグビーの世界は今まで企業スポーツという風潮でしたが、これからは地域、またはそこに携わる企業の皆様と共に進んでいくことが必要となり、私の経験値、様々な事業の展開並びに行政の皆様との繋がりから、チームに戻ることになりました。

約 4 年前にチームに戻りまして、今はこの様な連携事業であったり、各企業様へお話をさせていただく連携担当をやっております。私自身、各企業様の経営者の皆さまとお話することは、一つ目は、事業承継の問題。二つ目は、人材育成と採用。その中で、私自身いろいろな経験を生かしながら、その会社で一緒に応援する、または一緒に取り組む機会をどうやって創出をするかお話をさせていただいております。その中で、選択肢としてサッカー、バスケット、様々なスポーツがありますが、ラグビーというスポーツは組織、様々なポジション、役割があります。組織論を考えたときに、ラグビーは様々な役割があり、それぞれ選手も強み弱みがあり、選手同士が認め合いながらどうやって

そのチームを勝利に導くのかというときに、ラグビーというスポーツは企業の組織にすごく似てると思います。ラグビーの世界は経営者層の方が非常に多く、将来的な経営層の勉強も踏まえて、小さい頃から子供にラグビーをさせて、相手のことを思いやってプレーをすることを学ばせるということもありますので、私自身、経歴の中、様々な事業を行政の皆様と手に取り合いながら勉強させていただいております。

皆様のお手元にワイルドナイツとはというご案内を配らせていただきました。一番わかりやすい資料としては、2025-26 シーズンのご案内等という形でお持ちしました。我々、チームの特徴は人を育てるというところにあります。私は元々作新学院という高校出身ですが、三洋電機時代は高校生も採用すれば、大学生も採用していました。サントリーさん、神戸製鋼さんといったチームはスター軍団で予算もありました。当時、三洋電機ラグビー部は予算もない。グラウンドも整備されていない。そして群馬のチームということで、なかなか選手が来なかった。そこでチームの GM 並びに監督は、若い選手を発掘しようということで、各地でスカウトを行い、若い選手を採用して育てていきます。一番いい例がワイルドナイツです。海外選手、若い選手をどんどん採用しています。他はチーム予算を多く使い有力な選手を採用します。我々チームは若い頃からテスト生として海外から有力な選手、または日本人もチームに練習生として登録して、育てながらチームを強くしている。

よく言われるのは、チームの編成をする際に、7 年周期、いわゆる 7 年で世代交代という部分になります。一般的な企業の場合は、経営者の皆様の判断で企業を守るという体質で経営されていますが、スポーツの世界は選手の年齢、また体力等々がありますので、基本的に 7 年サイクルでチームを回しています。7 年後を見据えた形で、その年の選手を取るという活動をしてますので、他のチームと比べると、海外選手も日本選手も、移籍の選手が少ないです。後、退団してもセカンドキャリアを意識しており、社業にどうやって戻してあげるかを踏まえて、私がチームに戻ったことによって、その選手の性格、また仕事の能力であるとか、日ごろの対応を見ながら、その選手自身がどこの部署が一番いいのか、話をさせていただきながら、なるべくミスマッチがないようにしています。

プロ契約選手に関しては、プロは解雇の場合、スパッと契約は終わってしまいます。我々のパートナー様、スポンサー企業様等どこか企業様があれば、ご紹介しながらセカンドキャリアをフォローさせていただいております。

チームに関しては、ワイルドナイツはどのぐらいの戦績なのかということで、2 ページ目にワイルドナイツの戦績、ジャパンリーグワンからの 2022 年シーズンから 2025 年シーズンまで、見ての通り負けが少ないです。他のチームは単年度強化してムラがあります。企業経営もムラなく実施する為には、人を育てるのが一番だと思います。我々チームは人材育成を行い、世代交代を見据えた上で、チームビルディングしていく活動をしてますので、ほぼ毎年同じ成績。ベスト 4 以内に残るチーム作りをしているのが、ワイルドナイツの特徴です。

ラグビーのシーズンというのは、今シーズンに関しては 12 月 14 日に開幕となります。一昨年、昨シーズンと東芝さんが優勝しました。東芝さんは今、経営危機で大変な状況の中、このラグビーのチームを使って、経営並びに社内を盛り上げようという活動をしています。特に今回、2 年連続優勝しましたので、東芝さんは内部から盛り上がってきています。我々のチームも同じ家電業界になりますので、特に東芝さんとの試合はすごく盛り上がります。パナソニックも経営構造改革ということで、1 万人のリストラをやっています。我々チームも運営金額の削減を求められていますので、選手の雇用を維持しつつ、どうやって周りの皆様と協力をしながら実施するかという活動をしてます。

我々のチームの特徴は、熊谷ラグビー場があり、この周辺にワイルドナイツのクラブハウスがございます。クラブハウスの前には芝生もあります。ここで一番重要なのは、我々、元々群馬県大泉町が発祥の地で、その後太田市に移動して、今は熊谷に移りました。なぜ移ったかというと、その当時、ラグビー界でリーグワンが発足します。リーグワンに属する為には、15,000 人以上収容できるスタジアムを必ず完備しなさいと決められたとき、太田市のスタジアムでは、リーグ基準を満たしておりませんでした。私どもは太田市に申入れをしましたが、予算の関係で改修の同意が得られませんでした。そこで 2019 年、日本でラグビーワールドカップが開催されたとき、埼玉県熊谷市

はスタジアムを改修しました。埼玉県の皆様から、是非このレガシーを活用してくれないかと相談をいただき、我々も熟慮の結果、やむを得ず熊谷に移りました。

この中で一番ありがたい、皆さんに助けていただいたことは、我々チームは廃部の危機でした。2011 年 10 月にパナソニックから三洋電機は買収されました。三洋電機時代にいた従業員は 10 万人いたのが 7,000 人に。ラグビー部も当然廃部の話が出ました。一つ重要なことはそのシーズンに優勝しました。優勝して当時の社長がワイルドナイツは残すべきだろうと。尚且つ、当時の森首相が早稲田大学のラグビー部出身で、ワイルドナイツを無くすのは如何なものかというお話をいただきました。そしてチームが存続して残っています。

そこで我々が学んだのは、経営という部分でラグビーは、サッカー、バスケットと違い保有選手が多いです。いかに経営を小さくするか、要は本部を小さくするかということで、我々チームの運営はなるべく小さく、そして選手に投資するスキームの為、このクラブハウス、グラウンドは全部借りております。我々の持ち物ではありません。他のチーム、キヤノンさん、東芝さんは自社所有の為、固定費が非常にかかります。我々チームは埼玉県さんのお力でここを借りています。公園施設内にこういった施設が建つのは、ワイルドナイツが初めてになります。全国でも稀にみるスキームでありますので、施設見学に来る方が非常に多いです。我々チームとしては、行政の皆様また企業の皆様に支えていただきながらやっています。

企業様は企業理念を重要視されていると思いますが、我々チームはチーム理念に基づいて実施しています。「私達はラグビーを通じて世界の人々になくてはならない存在でありたいと思う。」どのような立場であっても、我々はこれをチーム理念として選手にすり込んでいます。「あなたたちができているのは、周りの皆さんに支えられているからですよ。」特に一番感じるのは選手を引退後に感じます。自分がいかに良い環境でラグビーをやっていたか。今、わかってもらうために、シーズン終了後に、各企業様にご挨拶をさせていただく取り組みをしております。選手も今では企業目線になりながら、また行政さんと皆様と一緒に取り組んでいる、やらせていただいてるという形になってきています。

チームとして今活動してる内容としては、行政の皆様とは連携協定という形で結ばせていただいておりまして、先日、深谷市と連携協定を結ばせていただきました。埼玉県、熊谷市、太田市、大泉町、川越市と以前から連携協定を結んでおります。我々は行政様の要請に対して、チームとしてしっかりと活動しますということで取り組んでいます。皆様のお手元の資料の中に、写真のパナソニックの下にスバルさんが載っています。これはすごいことで、スバルさんは他の企業やパートナーさん、スポンサーさんなど提携はしていませんでした。ワイルドナイツと手を組んで、会社の一体感を高めていこうという方針になっています。今シーズンからスバルさんが提携してくださいました。

スバルさんは群馬県太田市、三洋電機時代から繋がりがあります。尚且つ、大泉町にスバルさんとパナソニックの車専用バッテリー工場が作られます。3,500 億の投資をして、一緒に手を組んで実施していきます。ラグビーはホンダさん、トヨタさんもありますので、スバルさんとしても、企業同士の戦いでもあり、社内の一体情勢をどの様に実施していくかと話題になっています。太田市さんもスバルさんがワイルドナイツと一緒に協力していくということで、太田市の穂積市長にも協力していただきたく思います。開幕戦もご招待しておりますのでよろしくお願いいたします。

また、連携協定を結んでいる商工会議所の皆さんとシーズン終了の報告会を選手同行のもと、実施させていただいております。また、子供たちに夢をということで、近隣の市町村の皆様の首長の方にご案内をして、久喜市さん、鴻巣市さん向けに、バス代を行政が持ち、チームがチケット代を持って、いい席で親子観戦してもらおうという取り組みをしています。1 組 500 円になります。ワイルドナイツからはグッズをプレゼントする企画もあり、毎年好評になっています。ご案内として、子供たちが我々のチームを小学校時代に 2 年間に 2 回は試合を観に来てもらおうという取り組みをしてます。また、献血の取り組みは赤十字 3 社さんと選手 2 名をセレクトして、献血活動を PR させていただいています。地域交流として、パブリックビューイングや JA さんからはお米を寄贈していただいたり、交流をしております。

子供たちの交流において、左側に写ってるのは、障害者の子供たちにも絵を描いてもらい、クラブハウス内に掲出をしたり、授業でなぜプロスポーツ選手にな

ったのかを講義したり、地域に行って子供たちに教えるなど、様々な取り組みをしながら、郵便ポストや階段アートなど地域を盛り上げる活動として、商店街でワイルドナイツを発見して、試合の当日に盛り上げようという活動をしております。観に来たお客様にどうやってその地域の企業様をご案内できるのかを考えながら、取り組みをさせていただいています。

ワイルドナイツとしては地域連携を強化させていただき、子供たちに夢をというテーマをもとに実施させていただいておりますので、機会があればお越しいただければなと思います。

最後にパートナー企業様との激励会ということも実施をさせていただいて、企業様との交流を深めて、選手もお世話になっていますので、今後ともよろしくお願いいたします。ワイルドナイツの説明をさせていただきました。本日はありがとうございました。

根岸　利正　副Ｓ・Ａ・Ａ

＜本日のお食事＞

栗ごはん

◆例会日　毎週金曜日　12：10 より
◆例会場　ニューミヤコホテル館林（館林市文化会館内）
館林市城町 3-1　TEL0276-50-1541
◆事務所　館林信用金庫本店内
館林市本町 1-6-32　TEL･FAX 72-8181
◆E:mail　tatebayashi.rc@cc9.ne.jp

第 2840 地区ガバナー　竹中　隆
会　　長　本島　克幸　　副会長　山本　　樹
幹　　事　藤島　　厚　　副幹事　中世　吉昭
会報　委員　森田信一郎　　斉藤　正人
発行責任者　本島　克幸　　編集責任者　森田信一郎